

定例会議

令和7年度 補正予算など31件可決 ～9月定例会議の概要～

令和7年9月市議会定例会議は、9月1日から9月22日までの22日間にわたり開催されました。

定例会議初日の9月1日には、学校体育館のエアコン整備を来年度の予定から前倒して実施する経費やツキノワグマ被害等特別対策事業の経費など総額24億1,470万円余の2つの令和7年度一般会計補正予算など議案24件及び報告8件が市長から提出されました。

また、一般会計補正予算のうち、ツキノワグマ

被害等特別対策事業については、初日のうちに採決を行い、原案のとおり可決しました。

5日から4日間にわたり行われた一般質問には13人の議員が登壇し、市政の諸課題に関する質問がなされました。10日には、工事請負契約の件の追加議案1件が提出され、さらに、令和6年度決算に関する議案を審査するため決算特別委員会を設置しました。最終日の22日には、6件の追加議案が提出されたほか、各委員長報告、討論、採決が行われました。提出された議案については、いずれも原案または決算のとおり可決あるいは認定、同意されました。



決算 審査

令和6年度の決算を審査～決算特別委員会～

9月定例会議では、議長及び議会選出の監査委員以外の全議員で構成する決算特別委員会を設置し、令和6年度の決算を審査しました。

各常任委員会と所管を同じくする分科会により詳細な審査を行った後、議場で全体会の総括質疑を行い、その後、令和6年度決算について認定すべきものとする採決を行い、定例会議最終日の本会議において認定されました。



◆総括質疑の内容(一部)

問：信夫ヶ丘球場整備事業費について、防球ネットを増設したことによる成果は。

答：福島県高等学校野球連盟の春季大会、秋季大会などが再開され、信夫ヶ丘球場の賑わいが戻ってきた。大会において、ファールボールの飛び出しはなかった。

令和6年度決算の詳細については市政だより9月号や市のホームページにも ➡ 掲載されております。



先議

定例会議初日に速やかな 対応が必要な議案を審議

9月定例会議の初日に提出された議案のうち、一般会計補正予算(第2号)について、市長からの要請により、初日のうちに審議、議決いたしました。

初日に可決された議案(補正予算)

◆ツキノワグマ被害等特別対策事業費 補正額6,000千円

近年、全国的にヒグマ及びツキノワグマ、イノシシによる人の生活圏への侵入が相次いでおり、

人身被害も多く発生している。こうした状況を受け、改正鳥獣保護管理法の9月1日施行に伴い、人の日常生活圏での銃猟をすることを可能とする「緊急銃猟制度」が創設された。緊急銃猟制度の安全な運用体制を整備するための必要経費を補正するもの。



※緊急銃猟制度

人の日常生活圏にクマやイノシシが出没した場合、一定の条件を満たしたときに、市町村長の判断により銃器を使用した捕獲等ができる制度。